大阪公立大学における地域連携の取組について



大阪公立大学
中百舌鳥キャンパス



大阪公立大学
杉本キャンパス

大阪公立大学の地域連携方針

大阪公立大学地域連携センター（Collaboration and Contribution Center for Community）は、地域や行政などから寄せられるさまざまな課題（地域ニーズ）と教育・研究活動等を通じた学内資源（大学シーズ）とのマッチングを図ることで、地域社会と大学をつなぐ役割を果たします。

各事業を積極的に推進し、地域の人々の出会いと交流の場の創造に寄与することで、地域の活性化、文化発展の拠点となることを目指します。

PICK UP

大学の研究者



情報学研究科
吉田　大介　准教授

■ 主な研究内容

地理情報システム（GIS）を活用した防災・減災やインフラ維持管理、まちづくり等への応用研究

※研究者の経歴等は
（URL：https://www.omu.ac.jp/i/geo/）をご参照下さい。

デジタル技術の活用
（AI、AR、GIS、ドローン）

地域連携事例集にも掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

防災・減災、教育、都市整備、観光、デジタル人材育成・確保

■ 活用例

- ARアプリを活用した防災まち歩き
- ドローンプログラミング授業を通じた新技術教育
- ドローンのデータ活用によるインフラ維持管理におけるDX推進

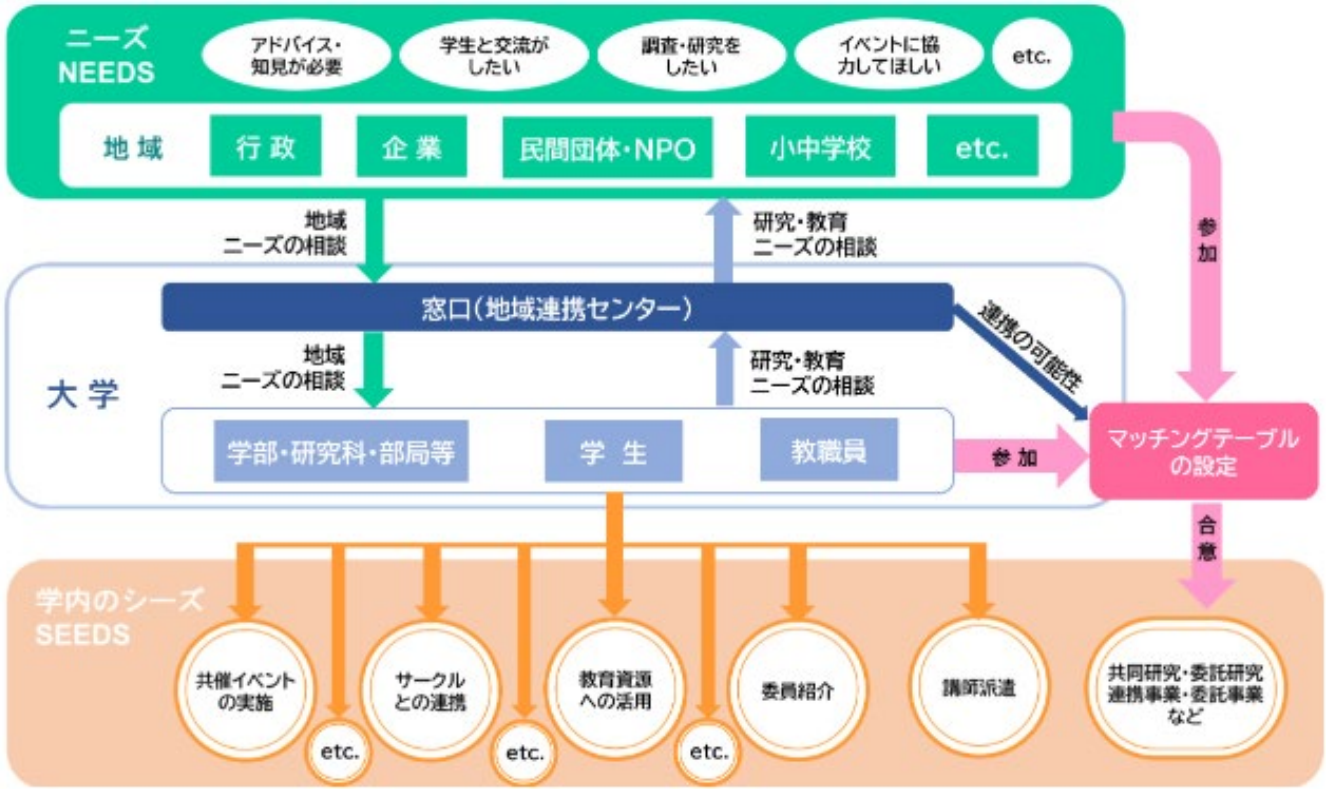
地域との連携形態について

地域との連携形態

教育や研究活動等を通じて培った多様な資源を、地域の活性化や文化の充実・発展、人財等の育成・養成に役立てていただくことは、総合大学である大阪公立大学の重要な任務のひとつです。本学では、この任務を組織的かつ着実に遂行するため、地域連携センターを設置しています。

地域連携センターでは、地域の皆様や行政機関と連携し共に考え行動する「地域貢献」、将来社会で活躍が期待される若い世代の育成を支援する「小・中・高等学校との連携」、地域連携活動を通じて皆様のスキルアップや学習の場を提供する「公開講座」をはじめとする多様な事業を展開し、地域の課題解決や発展に資するシンクタンク拠点としての役割を果たします。

地域やそこに暮らす皆様の未来のために、地域連携センターをご活用ください。



参考URL：https://www.omu.ac.jp/connect/about-us/

地域との連携実績について

地域との連携実績

地域の企業や団体、教育機関などからの問い合わせ窓口として、2013年に地域連携センターを設立し、社会と大学をつなぐ橋渡し役を担っています。また、地域の抱える課題（ニーズ）と大学の知（シーズ）のマッチングを行う「連携（サポート）事業」（旧スタートアップ支援事業）を、2017年度から大阪市と、2021年度からは大阪府にも拡大し実施しています。

・ 過去の連携実績

年度	相談件数	大阪府・市 連携(サポート)事業 [旧スタートアップ支援事業]	主な連携事例
2024年	101件	39件	−博学連携講演会「アマテラス粒子」の検出～宇宙でもっとも高いエネルギーをもつ粒子の謎 −ヘルプマークの理解を変えるための調査研究 −富田林市防災人材育成等支援業務（受託事業）
2023年	126件	31件	−大阪港湾局　クルーズ客船向け観光ツアー企画・提案ワークショップ −JR西日本「WESTERアプリプロモーション」 −生きた建築フェスティバル大阪　ガイドツアー
2022年	123件	41件	−津波浸水区域外での災害時避難所確保計画における課題抽出のための調査・分析業務（受託事業） −(大阪市)北区デジタルアーカイブ事業（受託事業） −(徳島県)牟岐町の関係人口の拡大につながる事業（受託事業）
2021年	88件	36件	−大阪市市民局　地域防災活動への女性の参画を促進するための調査研究 −(大阪市)旭区防災教育事業（中学生防災教育）（受託事業） −今福地域活動協議会「プログラミング教室」（連携事業）
2020年	56件	22件	−大阪府都市整備部　ドローンやAIを活用した港湾施設点検の実証実験 −大阪府住宅まちづくり部　入居者の高齢化が進む府営住宅における地域コミュニティ活性化のための調査・研究
2019年	83件	14件	−大阪市健康増進計画「すこやか大阪21（第2次後期）」推進のための調査研究 −JR西日本「まちのにぎわい創出アイデアコンテスト」（連携事業） −西成情報アーカイブネット企画運営事業（受託事業）

連絡先
大阪公立大学　地域連携センター
TEL：06−6605−2068　Mail：gr−shak−chiiki4c@omu.ac.jp